

2023年5月

特集「計算機統計学におけるデータ解析環境 R の利活用」の論文募集について

日本計算機統計学会
和文誌編集委員会

和文誌編集委員会では、和文誌『計算機統計学』における特集として「計算機統計学におけるデータ解析環境 R の利活用」に関する論文投稿を受け付けます。

オープンソースで開発されているデータ解析環境 R は公開されてから 30 年ほどになります。R は多くの統計家が R 本体や関連パッケージの開発に貢献することで、データサイエンス分野において必要不可欠なツールとなりました。一方、情報通信技術の発達に伴って大規模化、複雑化する多様なデータを利活用するために、R の関連パッケージが多く開発、公開されています。新たに開発されたパッケージのアイデアや、それらの利活用事例をはじめとする統計ソフトウェアに関する情報を共有、発信していくことは、統計学における研究開発に計算機が必要不可欠となった現在においても、日本計算機統計学会の重要なミッションの 1 つです。

本特集では、

- R を利用した多様なデータ形式に対する分析手法の提案
- R による大規模データの分析手法やフレームワークの提案
- 開発した R パッケージに関するレビュー
- 教育における R の利用
- R によるオープンデータの活用事例

など、計算機統計学の発展に寄与する投稿を募集します。多くの投稿が寄せられますことを期待します。

なお、本特集の投稿論文の採否は、通常の査読プロセスにより決定されます。

投稿期限：2023 年 9 月 30 日

募集する投稿区分：すべて（原著論文、総合報告、ソフトウェア記事）

投稿区分に関する詳細は、投稿規定を参照ください。

発行：2024 年 8 月（予定）

原稿送付先：論文投稿・査読システム

<https://www.editorialmanager.com/bcsj/>

オーガナイザー：藤野友和（福岡女子大学）

本特集に関する問い合わせ先：wabun-use-r@jscs.jp